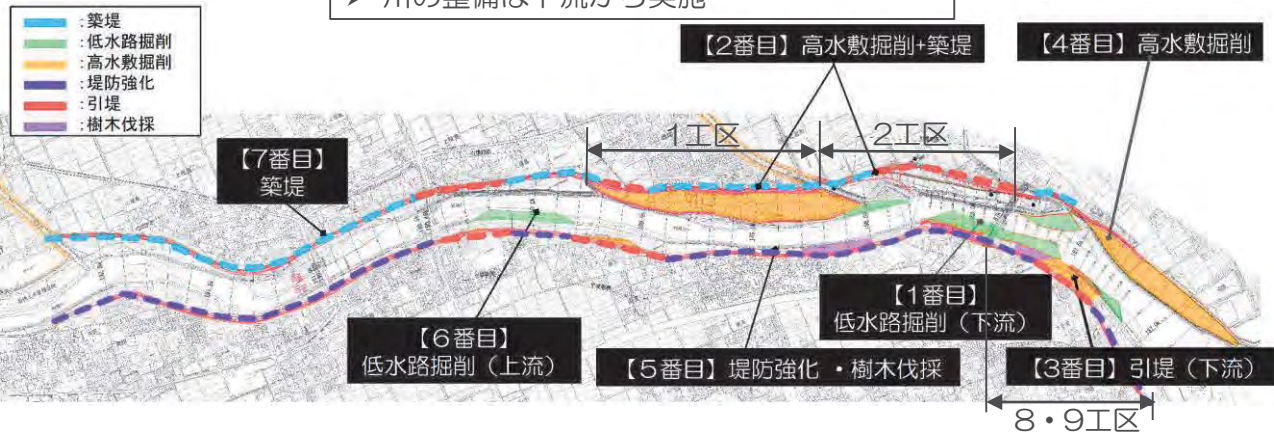


### 3. 工事の実施順序

- 整備効果が高い整備メニューから実施
- 治水安全度の低い箇所から優先的に実施
- 川の整備は下流から実施

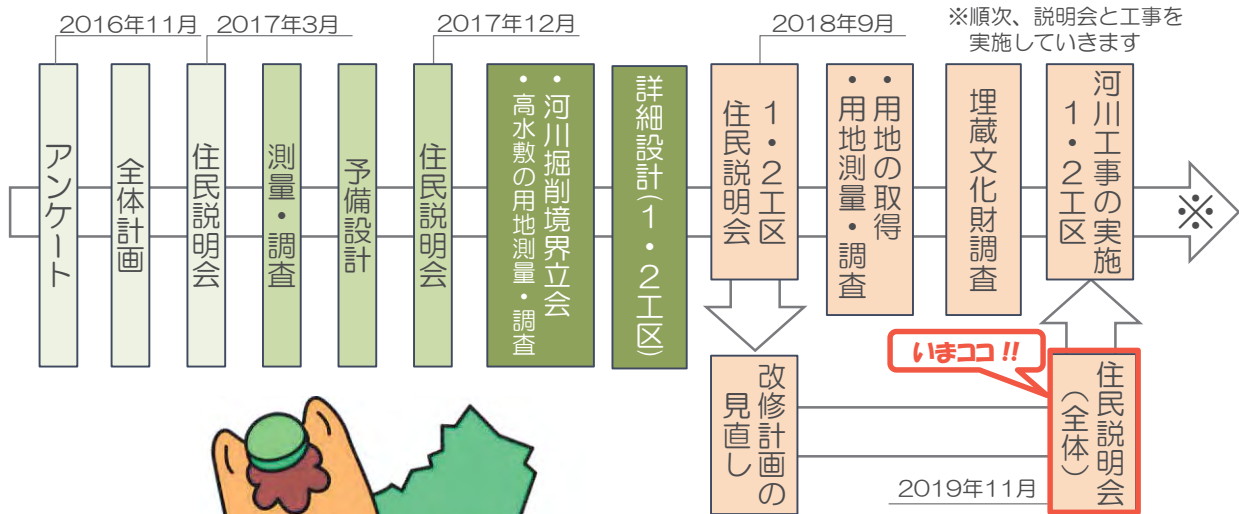


### 4. 今後のスケジュール

いまココ!!

※2019.11.28時点の予定です。早期完成を目指し調整中です。

工区	内容	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	
下流低水路	河床掘削	■											
1工区	用地取得・埋蔵文化財調査	■											
	高水敷掘削			■									
2工区	用地取得・埋蔵文化財調査		■										
	築堤			■									
8・9工区	用地取得・埋蔵文化財調査		■										
	築堤・引堤					■							



川づくり通信Vol.1, 2, 3は、伊勢崎土木事務所のホームページに掲載しています。

群馬県HP: <http://www.pref.gunma.jp/>

「伊勢崎土木」で検索してください。

川づくり通信 Vol.4 (令和2年1月発行)  
発行: 群馬県 伊勢崎土木事務所

〒372-0007 群馬県伊勢崎市安掘町247-1

☎0270-25-4010(代) FAX 0270-21-1046

E-mail: isesakido@pref.gunma.lg.jp



### 一級河川利根川河川改修事業(伊勢崎・玉村工区)

# 川づくり通信 Vol.4



## 利根川の河川改修事業について事業説明会を実施しました!

この事業は、地域のニーズを反映した公共事業として進めるものです。川づくり通信Vol.4では、令和元年11月に実施した住民説明会で話した「一級河川利根川河川改修事業」についてご報告します。

ご参加ありがとうございました!

### 説明内容

- ・事業主旨の説明
- ・前回説明会の振り返り
- ・河川改修の全体像
- ・堤防法線の見直しについて
- ・右岸堤防強化について
- ・今後のスケジュール
- ・用地買収の流れについて

	玉村町	伊勢崎市
開催日時	11月26日 19~20時30分	11月28日 19~20時30分
人数	86名	25名
場所	玉村町 文化センター	清掃リサイクル センター21



玉村町



伊勢崎市

### トピック: 台風19号における出水の状況

各地に大きな被害をもたらした令和元年の台風19号では、利根川でも大きな出水となり、伊勢崎・玉村工区においても水位が上がり本川から氾濫寸前の状況でした。



令和元年10月13日 (玉村大橋下流)



令和元年9月26日 (伐採前)



令和元年10月10日 (伐採後)

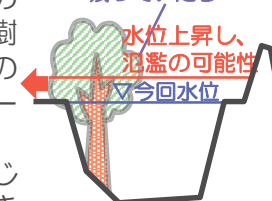


令和元年10月13日 (台風19号直後)

伊勢崎・玉村工区では、右に示す通り、台風の来襲直前に、洪水の流下の妨げになる藤川合流点付近の河道内樹木伐採工事が完了しており、出水時の水位低下による氾濫被害発生防止の一助となったと考えています。

今後も地域の皆さまのご協力を通じて、氾濫被害の発生防止に努めていきます。

樹木が残っていたら...



# 1. 河川改修計画の全体像

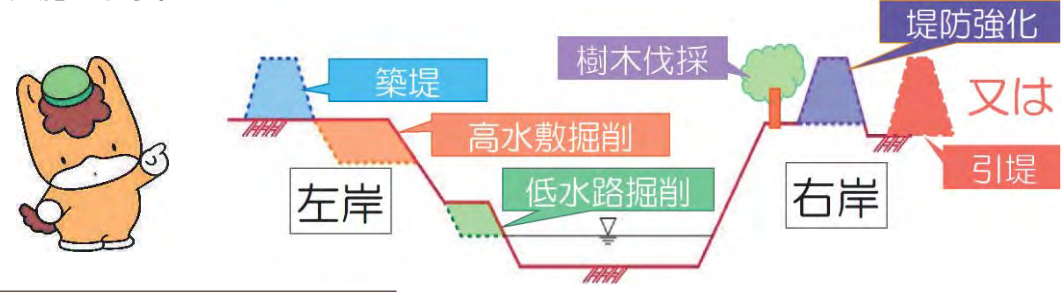
(1) 利根川の国管理区間界～端気川合流点(延長L=5.5km)を対象に河川改修を実施します。

- 改修規模は、将来計画や下流区間の利根川(国管理)との整合を図り、6,000m<sup>3</sup>/sの洪水を安全に流下させるものとします。

- 方針①：川幅の確保：利根川の伊勢崎・玉村工区に対して川幅が狭くなる箇所については、堤防の位置を改善し、川幅を広げます。  
 方針②：断面の確保：6,000m<sup>3</sup>/sを流すことができない断面については、堤防の整備、高水敷などを掘削し、断面積を確保します。

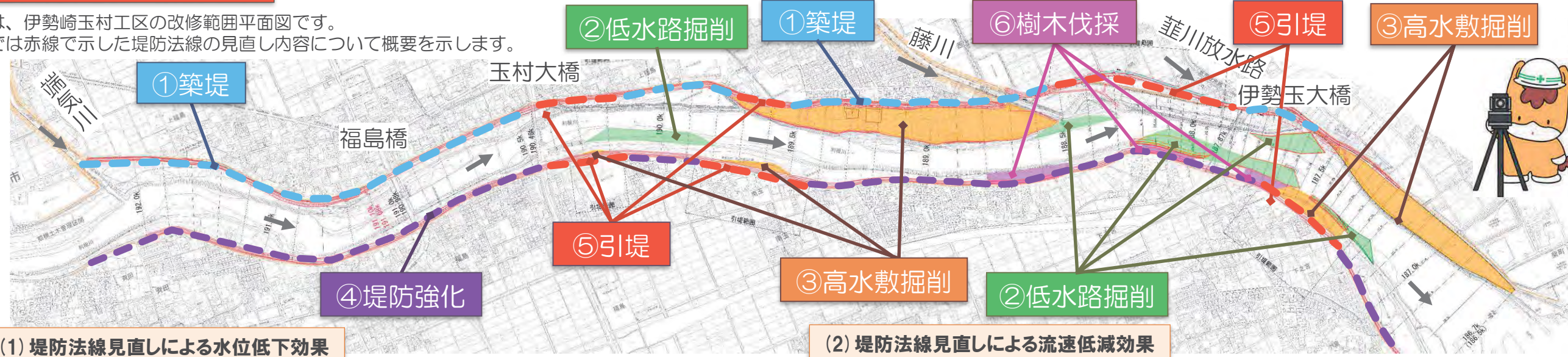
(2) 改修メニューを示します。

- 改修メニューは、川幅や断面の確保を目的とした堤防整備や高水敷掘削、低水路掘削を実施します。



# 2. 堤防法線の見直しについて

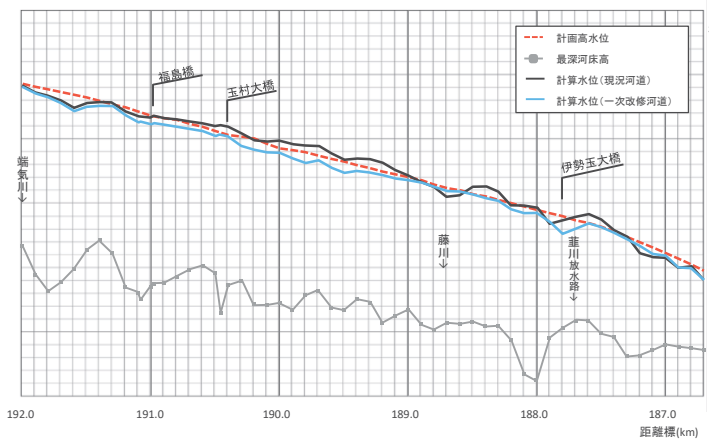
下図は、伊勢崎玉村工区の改修範囲平面図です。ここでは赤線で示した堤防法線の見直し内容について概要を示します。



## (1) 堤防法線見直しによる水位低下効果

川幅が狭い区間を広げ、洪水時の水位を低下させ、背後地への氾濫を防ぎます。

■ 水位縦断面図



低水路掘削、高水敷切り下げ、樹木伐採を行っても水位低下が困難な箇所では引堤を行い、計画流量6000m<sup>3</sup>/sを計画高水位以下で流下可能な改修とします。

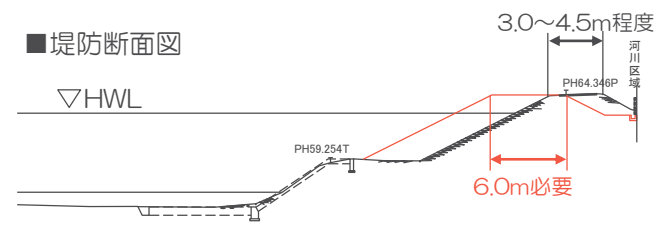
# 3. 右岸堤防強化について

右岸の堤防は、洪水時水位を流下させるための高さは保持していますが、必要な堤防幅が確保できていない区間があります。このため洪水時に堤防が決壊し、深刻な被害をもたらす可能性があります。昭和22年9月のカスリーン台風の際にも福島橋下流右岸の2箇所において堤防の決壊が発生し、被害が発生しています。



川側に盛土を行い必要な堤防断面形状を確保します。また、必要に応じて右図のような強化工法を検討中です。

■ 堤防断面図



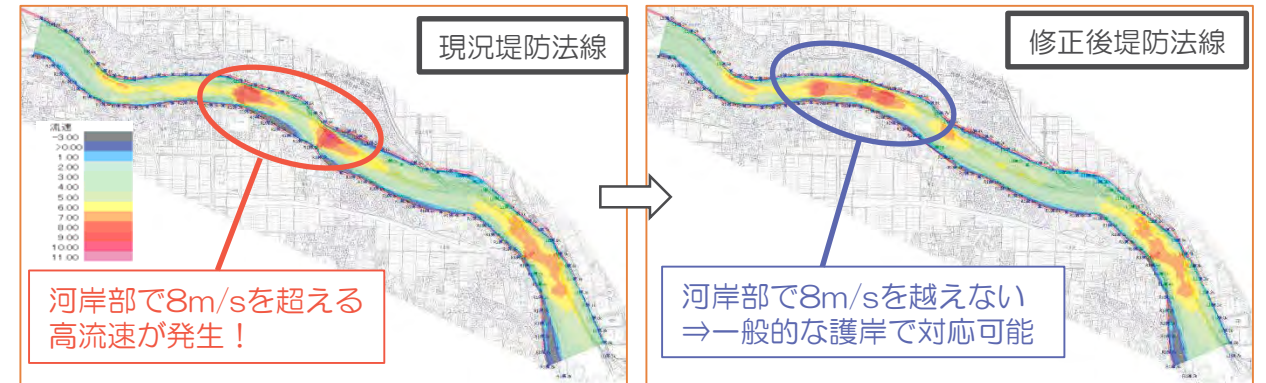
堤防強化工法の例

- 断面拡大工法
  - ・堤防断面を拡大
  - ・法面緩傾斜、など
- ドレーン工法
  - ・法尻にドレーン設置
  - ・堤体内の水を速やかに排水
- 遮水工法
  - ・堤防、基礎地盤を人工材料により遮水
  - ・堤体内に水を入れない

## (2) 堤防法線見直しによる流速低減効果

川幅が狭い区間を広げ、河岸部での流速を低減し、洪水を安全に流下させます。

■ 流速分布図



河岸部で8m/sを超える高流速が発生！

河岸部で8m/sを越えない → 一般的な護岸で対応可能